

第4回 Adler Festo

障がいのある方の支援に活かす アドラー心理学

2018/10/27
高橋良壽

クリニカル・クエスチョン

支援者はどうして利用者を注意ばかりしているのだろうか

支援者と利用者はタテの関係だった

⇒ 支援姿勢を作成

「できるだけ注意をしない、
注意しなくてもすむ工夫をしよう」

⇒ 支援者からは反発をかう

時代背景

障害福祉サービスは…

2003年 措置⇒契約 “パラダイム転換”

措置

行政に決定権

指導員（先生）主体の支援

契約

意思決定：自分でサービスを定める

意思決定支援の義務化

制度の移り変わり

- | | | |
|------|---------------------------------|-------------------|
| 2003 | 措置 ⇒ 契約
※ “パラダイム転換” | ↑ 先生／指導員
↓ 支援員 |
| 2006 | 障害者自立支援法 | ※ 利用者自身の意識改革 |
| 2011 | 障害者虐待防止法 | |
| 2012 | 障害者総合支援法 | ※ 意思決定支援を明文化 |
| 2013 | 障害者差別解消法 | |
| 2013 | 障害者権利条約を批准 | |
| 2017 | 社会福祉法改正
※ 法人・事業所の意識改革と義務を明文化 | |

リサーチ・クエスト

利用者の意思を尊重した支援ができず人権侵害をおこしてしまうのは…

RQ1

支援者のこうあるべきであるという意識が強いからではないだろうか。

RQ2

支援者の研修や教育不足に関係するのではないだろうか。

RQ3

支援者が常に忙しいと感じているからではないだろうか。

また以上の状況は属性による違いもあるのだろうか。

結果

$n=97$

利用者の意思を尊重した支援と…

支援者のこうあるべきであるという意識
との関係性

$r=-.49$ 中程度の効果量 負の相関

支援者の研修や教育との関係性

$r=.27$ 小さい効果量 正の相関

支援者の忙しさとの関係性

$r=-.12$ 小さい効果量 負の相関

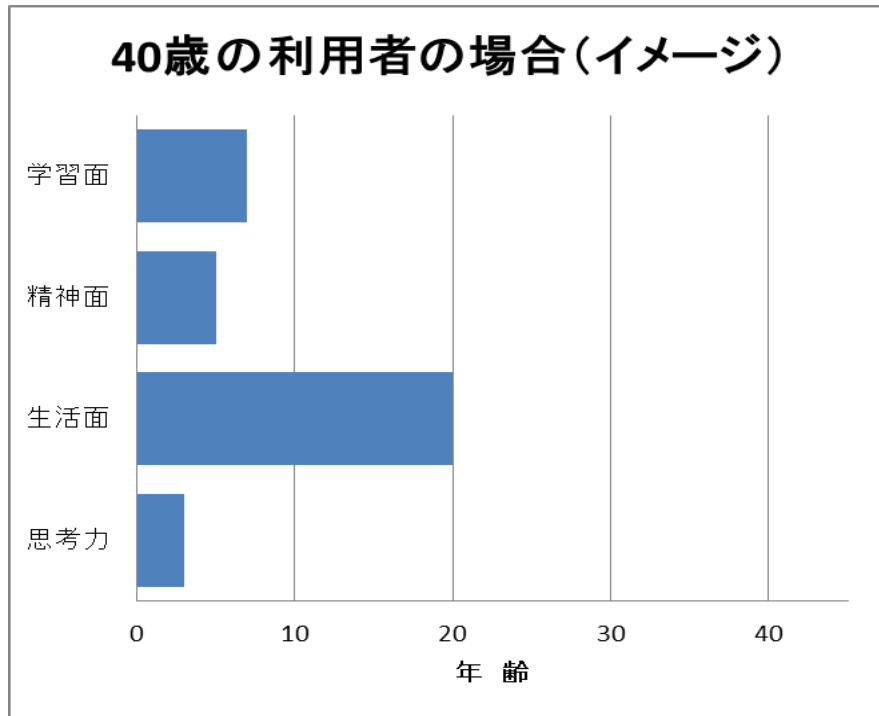
知的障がいがあるってどういうこと？

①

※イメージです

年齢と能力のバランスが悪い

40歳の利用者の場合(イメージ)



◆特徴

例えば、年齢40歳
だけど…能力に
よって発達の状況
がちがう。ばらつ
きがおおきい。

この状況を理解す
ることから支援を
はじめる

知的障がいがあるってどういうこと？ ②

通常発達



ものごとを判断するときのロジックが違う

知的な障がいがある



良い・悪いの判断には情報収集能力、経験が必要。障がいがあるとその部分が乏しいことがある。また支援者が教えていないこともある。

こうあるべきという意識

- ▶ もう大人なんだから
- ▶ しゃべれるんだからわかっているでしょ
- ▶ バスに乗れるから●●もできるでしょ
(AができるんだからBもできるはず)
- ▶ 何度も言っているでしょう

考察

- ▶ 支援者のこうあるべきという意識が強いと利用者の意思を尊重した支援が低下する
- ▶ 支援者の経験が増すとこうあるべきという意識はやや低下する
- ▶ 経験の浅い支援者はこうあるべきという意識が比較的高い
- ▶ 研修・教育状況が良くなると利用者の意思を尊重した支援が向上する

⇒研修にアドラー心理学を基礎とするPassegeプログラムを推奨する

Passageを参考にする ①

どんな場合に子どもは不適切な行動をするか

1. その行動が不適切であることを知らないとき
2. その行動が不適切であることは知っているが、
どうすれば適切な行動ができるのか知らないとき
3. その行動が不適切な行動であることは知っており、
適切な行動も知っているが、適切な行動をしても望む結果が得られないと信じているとき
4. 不適切な行動で注目や関心を得ているとき

Passageを参考にする ②

勇気づけを始める

- ▶ 不適切な行動の文脈を観察する
- ▶ 不適切な行動に注目をしない
- ▶ 適切な行動に正の注目をする
- ▶ より適切な行動と一緒に考える
- ▶ 適切な行動や側面を探す
- ▶ 短所でなく長所に焦点をあてる
- ▶ プロセスを重視し成長を認める

⋮

Passageプログラム／劇的な変化があるわけではない
アドラー心理学／相手を変えるのではなく自分が変わる

アドラー心理学と障害福祉

障害福祉が抱える課題をアドラー心理学で読み解く

アドラー心理学	障害福祉の課題
個人 <small>の</small> 主体性 全体論 社会統合論 仮想論 目的論	意思決定支援 障がい <small>に</small> 注目することなく一人の人として考える 社会生活の充実、他者との関係性 支援者のこうあるべきという意識 利用者の行動の目的を考える

第4回 Adler Festo

ご清聴ありがとうございました

